

# 日刊 動労千葉

84.10.31

No. 1780

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

# 連続5割決起実現の団結力で「60・3」へつき進むぞ

## 新小岩支部

新小岩支部は十月二七日、機関区講習室にて、第七回支部定期大会をかちとりました。

支部大会は、六〇名の代議員・傍聴者の結集のもと、十三時十分より松本親夫執行委員の開会のことばで始まった。資格審査発表・大会成立宣言ののち議長に飯田三男代議員を選出し、大会スローガンの提起ののち支部執行委員長あいさつに入った。

あいさつに立った松崎支部長は、この一年間の国鉄情勢が重大な情勢であったことにふまえ、動労「本部」革マルによる「59・2」、動乗勤、昇給協定など数々の裏切りを弾劾し、労働者の利益を守るには何なのか考えよう、と訴えた。そして動労千葉が3・25と10・10三里塚5割決起を實際にやりぬき、組織力・動員力をうち固めてきた成果と、この力で「60・3ダイ改」阻止に全力をあげようと訴えた。

来賓のあいさつを、葛飾区労協鈴木事務局長、労働金庫、本部山口副委員長、中江昌夫船橋市議よりうけた。山口副委員長は三本柱等の交渉経過と動労「本部」革マルの裏切りをふれながら、問題は労使の力関係にあること、労農連帯の力、3・25・10の力が職場の力関係を決定すること、「60・3」をはじめ検修合理化・勤務形態の改善等を許さずたたかひぬこう、11・3団結祭典、11・10国鉄労働者集会へ全組合員の参加を、と訴えた。



新小岩支部118名は団結してガンバロー！（10月27日、機関区講習室）

次に支部組合員である中江氏から、現在が定員法から朝鮮戦争へ突き進んだ時代と似ていることをあきらかにしながら、中曾根による労働運動の解体攻撃と、動労「本部」の労働者の団結を破壊する裏切りを弾劾し、三里塚農民のたたかいを守っていくことが、地域・職場のたたかいを守るみちであると、あいさつをうけた。

### 白熱した論議で方針を決定

その後祝電が紹介され、執行部より一般経過報告

**成功せよう！**  
11月3日(祭).9に  
結成5周年記念(46回)  
団結祭典

11.10 国鉄労働者集会

「分割・民営化」、10万人首切り反対！「60・3」大合理化阻止！  
反動・中曾根内閣打倒

日時 十一月十日(土)午後五時三〇分  
場所 千葉県・教育会館大ホール  
(千葉市中央、千葉地裁前)  
主催 国鉄千葉動力車労働組合  
内容 ・連帯のあいさつ  
・基調報告——動労千葉  
・決意表明——各地方の国鉄労働者

於・千葉鉄道学園グラウンド

・会計報告・会計監査報告が提起され質疑討論になった。

討論では、①対話オルグの中でだされた組合員の質問・不満に対する回答に執行部はどう応えているのか、②検査係登用試験時の交渉経過について説明を、と意見が出され、白熱した論議がかわされた。

大会延期承認・決算承認ののち、執行部より運動方針・予算(案)、書記次長新設をはじめとする規約・規則改正が提案された。

ここでの意見として、①指導員・内勤の職制改正により高令者の中に行き手がなくなるのでは、高令者を守り当局の介入を許さないためにもどう対処するか、②ワッペン着用闘争を更に徹底しなければならぬのではないか、③三里塚5割決起の意義を支部全体のものにしよう、④事務係の将来展望と自動昇格の問題について、⑤西明石ブルトレ事故以降の職場規律と管理強化にどう対決するのか、⑥蘇我廃止を全力で阻止しよう、等さまざまな問題について出された。

これに対し、松本支部執行委員、磯辺副支部長、山口副委員長、片岡組織教宣部長よりそれぞれ答弁が行われ、方針・予算等を全体の拍手で承認した。会計監査員の選出と役員退任のあいさつ、団結ガンバローで大会は終了した。

本定期大会は、さまざまな論議をへて組織力・団結力を強化する上で大きな成果があった。決定された方針ののち、「一人ひとりが活動家に」の実践と、三本柱攻撃・「60・3ダイ改」攻撃粉碎へ支部総体の決起をかちとっていく決意です。